



ひろば



令和6年7月31日発行

百日草

大きな歓声！19年目のリュウキュウアユ観察会

校長 山 美奈子



7月13日(土), 恒例のリュウキュウアユの観察学習会を行いました。当日は、県環境技術協会環境調査部の米沢さんと鹿児島大学の久米准教授、リュウキュウアユの養殖に携わっていらっしゃる又野さんが同行してくださいました。事前の学習会で、アユの生態や奄美大島の水中の生きものについて学び、その後、場所を役勝川に移し観察学習会を行いました。晴天の中、保護者や地域の方々に見守られながら、5年生から順にそーっと川に入り、魚たちを驚かせないように静かにうつ伏せになります。シュノーケルを上手に使いながら教えてもらったように水中で少し前をのぞきます。「いたーっ!」「見えた見えた!」と次々に歓声が上がります。リュウキュウアユだけではなく、ハゼやタナガといった水辺の生きものを数多く観察することができました。その他にも1学期には一日遠足での川遊びやカヌー体験、校内フィールドワークでの希少植物の観察学習会など住用小でしかできない地域での体験学習も多くありました。放課後は、池の周りを走り回って蝶々を追いかけて、花に集まる小さな虫を捕まえ観察する姿。休みの日に捕ったタナガを玄関の水槽に入れて毎日嬉しそうに観察する姿。学校は日々子どもたちの歓声とともにあります。子どもたちの大きな歓声は、日常の感動の表れで、この感動の積み重ねはやがて、自分たちの育ったふるさと住用への誇りに形を変えます。「子らよ、のびのび育て!」校長室の窓から子どもたちの姿を見て毎日のように願った1学期でした。

おかげさまで、大きな事故等もなく元気に1学期の学校生活を終了することができました。これも、保護者・地域の皆様のご協力のたまもので、心より感謝申し上げます。夏休みは家庭・地域で過ごすことになります。安全で楽しい夏休みが送れるよう、声掛けや見守りをお願いいたします。

音色も趣深い満月 時間・果実・玄米・歌舞伎
無ももろいね 満島 ひかり

先日、一冊の本を購入した。『軽いノリノリのイカ』。作者である女優の満島ひかりさんは回文作りが得意だという。回文とは、上から読んでも下から読んでも同じ文のこと。文頭の文をぜひ、下から読んでほしい。「**ねいろもおもむきぶかいまんげつじかんかじつげんまいかぶきむもおもろいね**」これが回文である。満島さんが作った回文に、芥川賞作家で芸人の又吉さんが短い小説を綴る。テレビでよく見かけるお二人は共に読書家であることは有名な話。その二人の作品と聞けば読まずにはいられない。

まず、不思議な回文の数々に驚いてしまう。ひらがなで書いて、ゆっくり読まないとい回文とはわからないほどの作品だ。それに、又吉さんのファンタジックでどこかシュールな小説がしっくりくる作品である。久々に面白い本に出会えた。

日本人は、昔から「ことは遊び」になじみ深い。回文やしりと、早口ことばなどである。幼い頃からことば遊びをしていると、言葉の一つ一つの面白さを感じ興味関心をもつようになる。意味がわからなくても、音の響きやリズムを楽しんだり同音異義語を連想したりして遊ぶことができるからだろう。早速作ってみた。満島さんのように長い文はまだ難しいから簡単な言葉を選ぶ。「イカと貝」。頭とおわりに言葉を足していくと、「わたし、イカと会、したわ。」となる。出来はいまいちだが、イカと集まって会議している自分を想像すると、むふふとなる。二学期は子どもたちと一緒に回文作りに挑戦してみよう。むふふ。

いたいた！見つけた！

7月13日(土)は、リュウキュウアユの観察学習を実施しました。水難事故防止のため、ライフジャケットを着用し川へ入ります。リュウキュウアユを見つけた児童からは歓声が上がっていました。住用小学校では、リュウキュウアユの観察・保護活動を始めて19年目になります。これからもリュウキュウアユが住めるきれいな自然環境が保たれるよう、子どもたちはこの学習についての感想を書き、2学期にはエフエムあまみに出演し発表する予定です。講師の先生方、支所の担当者の方、ご支援くださった保護者・地域の皆様、19年目も充実した活動ができました。ありがとうございました。



里山文庫

昨年度、本校に勤務していた里山喜久乃先生より、歴史に関する本及びアンクロン(インドネシアの民族楽器)を頂きました。本は、社会科への興味を高めたり、調べ学習の際に活用したりできそうです。また、アンクロンは、音楽科の授業だけでなく、仲良し音楽やその他の行事でも活躍してくれそうです。学校へ届けてくださった日には、里山先生に一目会おうと、次々に子どもたちが職員室を覗いており、里山先生の人柄がうかがえる光景でした。本当にありがとうございました。



～主な行事予定～

- 9/ 2(月) 2学期始業式
- 9/ 4(水) 学級 PTA
- 10/ 3(水) 住用小・住用中活性化委員会
- 10/ 9(水) リュウキュウアユ産卵地整地作業
- 10/18(金) 防災教室

ハブから身を守る

7月2日(火)は、保健所の職員を講師に招き、ハブ咬傷予防教室を実施しました。ハブの生態について学んだり、学校職員は体育館に解き放たれた本物のハブを捕らえる練習をしたりしました。最後は、ハブの入ったケースに近づき、間近でハブを観察しました。ハブによる怪我のないよう留意していきます。お越しくださった保健所の皆様、ご指導ありがとうございました。



住用小ゆらおう会

6月29日(土)は、児童・保護者との懇親会「住用小ゆらおう会」に住用小全職員が参加しました。工夫を凝らしたレクリエーションや景品持ち寄りのビンゴ大会に、子どもも大人も存分に楽しみ、笑顔いっぱいの会となりました。準備をしてくださった役員をはじめ保護者の皆様、参加してくださったご家族の皆様、ありがとうございました。初めてのゆらおう会は大成功でした。



ようこそ、住用小へ！

7月9日(火)は民生委員の皆様、7月12日(金)は学校評議員の皆様による学校訪問がありました。その中で、「熱中症対策」「あいさつ・返事」「むし歯の治療率」等のご指摘がありました。児童や保護者と一緒に考えながら、心身共に健康で安全な学校生活を送ることができるよう努めてまいります。一方、学校の様子が分かりやすく行事に参加しやすいとの声もありました。これからも様々な行事をご案内していきますので、皆様も子どもたちの様子を見に、ぜひ住用小学校へお越しください。児童・職員一同お待ちしております。

～お知らせ～

9/15(日)に予定されていた住用へき地保育所・住用小・住用中合同運動会は、児童を含む全ての参加者の健康と安全、及び他の行事の調整等を考慮し、11/24(日)に延期することとなりました。変更に伴い、皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。多くの皆様の参加をお待ちしております。

